

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 農業6次産業化促進支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内4065)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,500千円 (前年度予算額：4,500千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,500	2,250	0	0	0	0	0	0	2,250
要求額	4,500	2,250	0	0	0	0	0	0	2,250
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農山村の所得向上や雇用確保、地域活力の向上に図るため、地域の農林水産物や資源を活用した6次産業化の取組みを面的に拡大していくことが必要である。

このため農林漁業者が新たに県産農産物の加工及び農産物の加工品の流通・販売に取り組み、商品開発及び事業化を図る場合に必要な機械・器具に対して支援する。

(2) 事業内容

・6次産業化に取り組む総合化事業計画認定事業者、認定農業者、農業法人、農村女性グループ、水産事業者、林業事業者に対して、自ら生産する農林水産物を利用した加工食品の商品開発・販売促進に必要な経費を助成する。

① 事業主体

総合化事業計画認定事業者、認定農業者、認定新規就農者、農業法人、農業者の組織する団体、水産事業者、林業事業者等

② 対象経費

自ら生産する農林水産物を利用した新商品開発に必要な機械器具等の導入に要する経費

③ 補助率

1 / 2 以内（総合化事業計画認定（見込み含む）事業者）

1 / 3 以内（その他事業者）

補助限度額：1事業者あたり1,000千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国事業の対象外となる6次産業化に取り組む事業者の取組みに対する県負担は妥当。
- ・1/2または1/3以内
(総合化事業計画認定事業者の取組みに配慮)

(4) 類似事業の有無

- ・無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,500	6次産業化に必要な機械等
合計	4,500	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

(2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

①地産地消県民運動の展開

地域資源を活用した6次産業化の推進

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農業6次産業化促進支援事業費補助金
補助事業者（団体）	総合事業化計画認定事業者、認定農業者、認定新規就農者、農業者の組織する団体 等 (理由) 6次産業化に取り組む事業者であるため
補助事業の概要	(目的) 6次産業化により農産物の高付価値化に取り組む農業者に対して、商品開発等に必要となる施設及び機械・器具等の整備を支援する。 (内容) 自ら生産する農産物の加工食品の開発に要する経費
補助率・補助単価等	定率 (内容) 補助率：総合化事業計画認定（見込み含む）事業者 1 / 2 以内 その他事業者 1 / 3 以内 (上限1,000千円/団体) (理由) 6次産業化に取り組む事業者の初期投資軽減を図る
補助効果	新規商品開発
終期の設定	終期7年度 (理由) ぎふ農業・農村基本計画の期間

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>事業主体が新商品開発に取り組み、農産物の高付加価値化、農家所得の向上につながる新商品ができています。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	達成率
	(R元)	実績	目標	目標	(R7)	
①6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定事業者数（累計）	93	98	106	108	111	88%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	4,137	1,834	4,328

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組を支援 令和2年度補助事業活用事業数 2事業 (リキットフリーザー、スモージーミキサー、急速冷凍庫など) 令和2年度総合化事業計画認定数 2事業者
	指標① 目標：97 実績：95 達成率：98%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組を支援 令和3年度補助事業活用事業数 7事業 (電気乾燥機、スチームコンベクションオーブン、真空包装機など) 令和3年度総合化事業計画認定数 3事業者
	指標① 目標：102 実績：98 達成率：96%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	6次産業化の取組みにより経営の向上を目指す意欲的な農業者、女性グループが多く、新商品開発に必要な設備投資に対する行政支援のニーズが高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 1	6次産業化に取り組む事業者の初期投資の一部を支援することで、地域づくりや所得向上に向けた新商品開発や販売促進につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	農林事務所が、市町村等と連携して事業実施体制の整備、事業計画の策定及び実施にあたって必要な指導・助言を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県の6次産業化の取り組みを促進するため、水産事業者や林業事業者等へ6次産業化の面的な広がりを進めることが重要で当該事業の継続が必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業として継続が必要である。 (理由) 補助事業者に対し、アドバイザーを派遣し、サポートすることで事業効果を高めている。本事業は、農業者、水産事業者、林業事業者、市町村等から要望が多く寄せられている。
